

認知症は

単なる物忘れとは違います。

早期受診・早期治療で、

明るい毎日を。

気づきの一歩は周から。

年とともに「もの忘れがひどくなった」と感じる人は多いのではないのでしょうか。

この「もの忘れ」を、ただのもの忘れで片づけていませんか？

現在、85歳以上のお年寄りの実に3～4人に1人が認知症といわれています。

認知症は、はじめのうちは歳のせいによるもの忘れとの区別がつきにくい病気です。

大きな違いの1つとして、認知症は体験のすべてを忘れてしまうのに対し、

歳のせいによるもの忘れは、体験の一部を忘れていることがあげられます。

認知症は、さまざまな病気によっておこるため、早期受診・早期治療が大切となります。

周りの方は『認知症の前兆』に一日でも早く気づいてください。



認知症の症状

- 同じことを何回も言ったり聞いたりする
- 財布を盗まれたと言う
- 夜中に急に起き出して騒いだ
- だらしなくなった
- 置き忘れやしまい忘れが目立つ

左記の症状が見られたら、早めに受診しましょう。
相談は、各市町村の地域包括支援センターで受け付けています。

岐阜県医師会(認知症サポート体制構築事業)